

## Portfolio 8.5 から 10 へのアップグレード

v.8.0 のカタログを v.8.5 で開く .....	1
Portfolio Server のセットアップ.....	1
システム環境を確認する .....	2
関連ソフトウェアをインストールする .....	2
既存のカタログをバックアップする.....	2
Windows.....	2
MacOSX.....	2
ネットワークポート： .....	3
インストール： .....	3
ライセンス番号入力とパスワードの変更： .....	3
プレビューのコピー .....	4
ユーザーアカウント： .....	5
カタログタイプ： .....	5
Portfolio デスクトップクライアント： .....	6
機能のテスト： .....	6

以下の手順は Portfolio 8.5 が動いているシステム上で 10 へアップグレードする方法です。

### v.8.0 のカタログを v.8.5 で開く

v.8.0 の場合は、[カタログを Portfolio Server 10 で開く前に](#)、一度 v.8.5 で開く必要があります。

#### ステップ

Portfolio 8.5 クライアントを起動します。

ファイルメニューから「カタログを開く」メニューを選択します。

変換したい FDB ファイルを選択して「開く」をクリックします。

「Portfolio 8.5 で開くためには変換が必要」という旨のダイアログが開くので、「OK」をクリックしてカタログを変換します。

カタログが変換されると、Portfolio 10 で開けるようになります。

### Portfolio Server のセットアップ

## システム環境を確認する

必要な動作環境を満たしていることを確認してください。10 では Mac の Power PC をサポートしていませんので注意してください。

Portfolio Server 10 は Java に依存するため、サーバーのブートドライブ上にインストールする必要があります。ネイティブ FDB カタログは同じボリューム上に保存する必要があります。Portfolio Server Admin Web 画面のグローバル設定でディスク使用に影響を及ぼす他の要因（プレビューの保存場所やログの保存場所）を設定できます。

## 関連ソフトウェアをインストールする

ハードウェアの仕様を確認すると同時に、以下のソフトを事前にインストールしておきます。

QuickTime v.7.6.6 以降の最新バージョン：ファイルフォーマットによって必要

Flash Player 10.3 以降：Portfolio Server 管理画面用に必要

RAW から DNG 変換をする場合は、Adobe DNG Converter を Portfolio Server インストール前にインストールしておく

## 既存のカタログをバックアップする

Portfolio Server カタログファイルをコピーしておきます。

## Windows

Portfolio Server サービスを止めます：

スタート > All Programs > Administrative Tools > サービス を選択

「Portfolio Server」を右クリックして「Stop」を選択

以下の場所にあるフォルダをコピーしてバックアップします：

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server 8.5\Catalogs\

カスタムカタログタイプを作成している場合には、クライアントマシンからコピーしておく必要があります：

C:\Program Files\Extensis\Portfolio 8.5\Locale\\*\Support\Catalog Types

\*はご利用の言語環境によって変わります。

## MacOSX

Portfolio Server サービスを Launcher を使って止めます：

/Applications/Extensis Portfolio Server 8.5/Server Launcher Portfolio を開きます。

「停止」をクリックします

Server Launcher を終了します。

以下の場所にあるフォルダをコピーしてバックアップします：

/Applications/Extensis Portfolio Server 8.5/Catalogs

カスタムカタログタイプを作成している場合には、クライアントマシンからコピーしておく必要があります：

/Applications/Extensis Portfolio 8.5/Locale/English/Catalog Types

Windows システムでアップグレードをインストールする場合は、スタート > Programs > Administrative Tools からサービスコンソールを開き、どのアカウント下で Portfolio Server を動かすかを設定します。Portfolio Server のバージョンが新しくなることにより、前回のアカウント設定が全て引き継がれない場合があるのでご注意ください。詳しくは Portfolio Server Administration Help または Portfolio Server Administration ガイドを参照してください。Mac OS では、前回の Portfolio Server がインストールされているのと同じユーザーアカウントでログインしていることを確認してください。

### **ネットワークポート：**

以前のバージョンでは、Portfolio Server と Portfolio クライアントの通信には、TCP ポート 2903 を利用していました。Portfolio Server 10 では、Portfolio Server 内部の Media Rich エンジンに Portfolio クライアントから接続するために、TCP ポート 9877 も開く必要があります。

### **インストール：**

Portfolio Server 10 のインストーラを実行します。Windows では「サービスユーザー」を指定する段階で、上記でサービスを参照したのと同じアカウントを使ってください。

インストーラは 10 以前のバージョンをアップデートします。Portfolio Server が起動すると、全てのネイティブ FDB カタログは自動的に v.10 にアップデートされます。サーバーを再起動してアップデートは完了です。

ウェブブラウザ上で Server Admin Web インターフェイスを開きます。開くためには、サーバー IP アドレスと、ポート 8091 を入力すると接続できます。例えばサーバーの IP アドレスが 10.9.88.22 の場合は、<http://10.9.88.22:8091> と入力します。サーバーと同じマシンで開く場合は、<http://localhost:8091> または <http://127.0.0.1:8091> と入力します。

### **ライセンス番号入力とパスワードの変更：**

Portfolio Server のライセンス番号は、Server Admin Web インターフェイス内で入力

します。以下の手順に従ってライセンス番号を入力し、パスワードを変更しておきます。  
Server Admin Web インターフェイスを開きます (<http://localhost:8091> など)  
デフォルトの管理者ユーザー名とパスワードを入力します

「ユーザー」を選択します。

「administrator」アカウントを選択します

「ユーザーの詳細情報」パネルで新しいパスワードを設定します

「適用」をクリックします

「ライセンス」を選択します

「+」ボタンをクリックします

注意：一番始めに Portfolio Server のライセンスを入力します。

Portfolio Server の新規ライセンスを追加します。Portfolio 10 を入力するとそのライセンスで利用できる数の（デスクトップ&ウェブ）クライアントライセンスが含まれています。

「+」ボタンをクリックします

さらにライセンスがあれば追加します。

カタログファイル自体は特に必要がなければ変更する必要はありません。ただし 10 ではサーバー管理画面で以下の設定を行うことができます：

オートシンクフォルダ（同期フォルダ）の設定

プレビューフォルダの設定

サーバーデータの設定（ウェブクライアントから依頼される画像処理時の一時フォルダに利用されます）

ログの保存場所

詳しくは Portfolio Server Administration ガイドを参照してください。

## プレビューのコピー

同じプレビューファイルを使用したい場合は、以下のステップを利用します。

新規 Macintosh サーバーの以下の場所にプレビューフォルダをコピーします。

/Library/Application Support/Extensis/Portfolio Server/Previews/

Portfolio Server 管理画面をウェブブラウザで開きます (<http://127.0.0.1:8091>)

カタログをクリックして、カタログを一覧から選択します。

プレビュータブをクリックします。.

「プレビューが表示されるまでの時間を短縮するには、このフォルダにプレビューを保存します」を選択して、フィールドに以下のパスを入力します：

/Library/Application Support/Extensis/Portfolio Server/Previews/[copied preview

folder]

「適用」 ボタンをクリックして変更を保存します。

## ユーザーアカウント：

Portfolio カタログに接続するためには、ユーザーを設定する必要があります。Server Admin Web インターフェイスから Administrator がユーザーを作成し、カタログごとにアクセス権を設定します。ここで作成されたユーザーを使って、デスクトップクライアントやウェブクライアントからカタログに接続します。

Portfolio 10 のカタログでは、ユーザーによるアクセスのみが可能です。以前のバージョンにあったアクセス権によるアクセスはできません。アクセス権による設定がされているカタログを Portfolio 10 にアップグレードする場合は、Administrator はユーザーとその権限を手動で作成する必要があります。もし既存のカタログがユーザーによるアクセスに設定されている場合は、自動的にユーザーに適用されます。

アカウントの作成：

Portfolio Server でカタログにユーザーを設定するには以下のステップで行います：

Server Admin Web インターフェイスを開きます (<http://localhost:8091> など)

Administrator 権限でログインします

「カタログ」を選択します

カタログを選びます。

「カタログのメンバシップを管理」をクリックします

アカウント名を選択します

アクセスレベルを選択します

「適用」をクリックします

各カタログに対して、関連づけたいユーザーアカウントの設定を繰り返します

## カタログタイプ：

もしカタログのカスタムタイプを以前の Portfolio 8.5 で作成して保存している場合は、コピーして以下の場所に配置します。

Mac OS X:

```
/Applications/Extensis/PortfolioServer/data/catalog-settings/English/catalog-types/
```

Windows:

```
\ProgramFiles\Extensis\PortfolioServer\data\catalog-settings\English\catalog-types\
```

Portfolio Server を再起動するとカタログタイプを利用できるようになります。

## **Portfolio デスクトップクライアント：**

システム環境を確認します。

Portfolio 10 デスクトップクライアントのインストーラを実行すると、8.5 が上書きされてアップデートされます。シリアル番号の入力は不要です（Server Admin Web インターフェイス内で入力します）。10 のクライアントから、前のバージョンの Portfolio Server には接続できません。

## **機能のテスト：**

Portfolio Server 10 のアップグレードが終わったら動作を検証します。

Portfolio デスクトップクライアント：

Portfolio デスクトップクライアントでカタログを開きます。手動でいくつか画像を登録したり、オートシンクフォルダが機能していることを確認します。カタログ内のアイテムやサムネイル、プレビュー、メタ情報をチェックします。